

# I. 転倒災害及び腰痛を防ぐため「見える化」

「リース材・転用材の立ち馬」を使う工事で

## 作業範囲を足裏で感じ安心感の見える化

以前の内装仕上げ工事の足場は脚立に足場板ゴムバンド固定が主流でしたが、現在は扱いが簡単な立ち馬を使用した足場が主流となっています。扱いやすい立ち馬ですが上方にばかり注意が向き高所ではない2m未満から作業床を【踏み外しによる転倒災害】も多く発生しています。

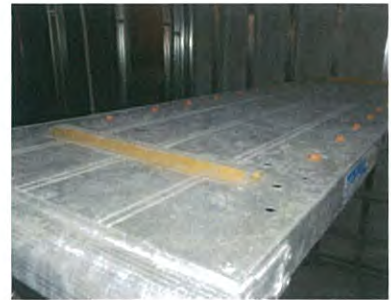
最近の立ち馬には作業範囲を示す【黄色丸型ピン列】や【帯状突起】を備えて作業範囲を目で見えて足裏で感じて認識する工夫があるものもあります。しかし、建築現場の多くの立ち馬等はリース材（中古転用材）が多く用いられて主要部は整備されていますが、【黄色丸型ピン列】や【帯状突起】までは磨耗や欠損の補修まで出来ていないのが現状です。



一般的な突起なしの立ち馬



【丸型ピン列】付き立ち馬



【帯状突起】付き立ち馬

当現場の立ち馬は

- ・一般的な「突起なし」立ち馬
- ・新品リース品や良く整備された【丸型ピン列】付きや【帯状突起】付き立ち馬
- ・中古リース品の【丸型ピン列】付きや【帯状突起】付きが破損 磨耗した立ち馬が混在しています。

当現場では 現場に常備して、扱いやすく、状況に合わせやすい

『ゴムバンド』を立ち馬作業床に

- ① 2本を2カ所巻き付けて 作業床の端部を足裏で早く感じ、2回感じる工夫
- ② 2本を二重に巻き付けて 作業床の端部を足裏で強く感じる工夫をして 墜落災害を防いでいます。



① 2本を2カ所巻き



② 2本を二重に巻き



① 2本を2カ所巻き  
ゴムバンドを早く感じる。2回感じる。



② 2本を二重に巻き  
ゴムバンドの厚みで強く感じる。